

平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 11 日

評価対象事業		評価者	行政経営課	服部 基己
行経-02	重点事業	行財政改革推進事業	■ 自治事務 □ 法定受託事務	主管課 行政経営課(行革推進課) 関連課 企画計画課(経営企画課)
	総合計画上の位置付け	分野 行財政運営	施策の方針 行財政運営	

1 事業の目的

対象	市職員等
意図	本市の厳しい行財政運営の中、限られた行政資源を効果的・効率的に運営するため。
効果	健全で市民にわかりやすい効果的・効率的な都市経営の実現

2 平成29年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>・行財政改革の推進及び進行管理を行った。</li> <li>・業務改善の更なる推進を図るため、業務分析を拡大実施した。</li> <li>・執務環境の改善に向けた、執務環境等調査を本庁舎1階で実施した。</li> </ul>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 事業費等基礎データ

データ区分	28年度決算		29年度決算		データ区分	30年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,869人	80,925世帯	176,466人	81,150世帯	人口	176,308人	81,763世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数					事業の対象者数			
運営資源状況	決算値(千円)	2,321	11,290	当初予算(千円)	16,604			
	国県支出金			国県支出金				
	地方債			地方債				
	その他	972	972	その他	972			
	一般財源	1,349	10,318	一般財源	15,632			
	人員配置数	2.5	2.5	人員配置数	2.5			
事業経費運営	人件費(千円)	19,380	18,871	人件費(千円)	19,196			
	総事業費(千円)	21,701	30,161	総事業費(千円)	35,800			
	市民1人当りの経費(円)	123	171	市民1人当りの経費(円)	203			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-1. 今後、市民等との協働による事業実施に向けた検討が必要である
		△.協働未実施 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	現在実施している業務改善の推進や執務環境の整備事業に加え、新たにICT技術を行政事務へ活用するための調査及び試行的導入を行い、その効果を検証していく。
					事業へ統合

予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	業務量等調査の実施対象課をその必要性に応じて選定したことに伴い当該予算は縮小するが、執務環境の整備事業については前年同規模の予算とし、さらに、ICT技術の活用可能性の調査、試行的導入に伴う予算を新たに計上するため、予算規模を拡大させる。
----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

総評(評価に対する考え方、根拠等)	第4次鎌倉市行革プランについては、アクションプログラムの所管部長が行革推進本部会議に取組状況を報告するとともに審議がなされたことにより、適切な進行管理がなされている。また、平成26年度から実施している業務量等調査の結果に基づく業務改善活動を継続的に実施したことにより、対象課で超過勤務時間数の大幅な縮減や市民サービスが向上するなど、いずれも行財政改革の取組が進展している。執務環境等調査により本庁舎1階における最適なレイアウト等が提案され、執務環境の改善及び市民の利便性向上に向けた検討が進められている。
-------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

平成29年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	第4次鎌倉市行革プランの適正な進行管理を行う必要がある。 業務改善を一層進めるために、業務量等調査を拡大実施する必要がある。 最適な執務環境及び市民の利便性向上を図るため、実態調査等を行う必要がある。	
課題解決のために行った平成29年度の取組	第4次鎌倉市行革プランのアクションプログラムについては、適切な進行管理を図るため行革推進本部会議で審議を行った。 業務量等調査の対象課を10課に拡大し、実施した。 最適な執務環境等を検討するため、専門知識を有する事業者に業務を委託し執務環境等調査を行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	業務量等調査については多額な経費を要することから全庁的な実施は難しく、委託に依らない方法を検討する必要がある。また、業務改善を進める上でファシリテートを務める行政経営課のマンパワーに限りがあるため、効率的な実施方法を検討する必要がある。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	行財政改革取組状況 行政改革の包括計画策定の有無								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	海老名市	逗子市	三浦市
他市実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	行財政改革の取組は各市で行っており、包括計画についても各市で策定をしている。
----------------------	----------------------------------------

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	超過勤務手当等支給額を550,000,000円以下に維持することとし、実績値により達成率を計る。					単位	円	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	550,000,000円は、平成25年度策定の新鎌倉行政経営戦略プランで目標とした数値		
効果的、効率的な組織運営を行うことで超過勤務時間数が縮減すると考えられるため。	目標値	550,000,000	550,000,000	550,000,000	550,000,000	550,000,000	550,000,000			
	実績値	543,177,659	539,169,880	524,062,284	517,703,456					
	達成率	101.3%	102.0%	104.9%	106.2%					

指標の内容	市民意識調査結果における「鎌倉に住み続けたい」と感じる市民の割合					単位	%	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
行財政改革推進事業の最終的な目的は、市民満足度の向上であり、「鎌倉に住み続けたい」と考える市民意識に反映されると考えられるため。	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
	実績値	84.7	83.1	86.5	86.8					
	達成率	84.7%	83.1%	86.5%	86.8%					

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	超過勤務手当等支給額は、当初の目標である550,000,000円以下を達成しているが、より高い達成率を実現する必要があることから、指標の傾向を拡大とした。 本市に住み続けたいと感じる市民の割合は非常に高い傾向であり、今後も住み続けたいと感じてもらおうべく、引き続き本事業を実施し、市民の満足度の更なる向上を目指していくことから指標の傾向は拡大とした。
-----------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------